

# 平成31年度当初予算 予算要求シート

事業区分： 重点      マスタープラン： 3つの挑戦 / 低炭素      施策番号： 5-1      局・課名： 環境局・環境エネルギー課

<b>事業名</b>	<b>低炭素活動促進事業</b>	<b>事業費(千円)</b>	平成29年度決算額	平成30年度予算額	平成31年度要求額	
		1,037	4,219	2,722		
<b>事業概要</b>	<b>【目的】</b>	<b>債務負担行為</b>	<b>期間</b>	<b>要求額(千円)</b>		
	<p>CO2排出量が増加傾向にある民生部門において、環境に対する意識醸成を行い、環境活動に取り組む主体の拡大を図るとも、中小企業をはじめ事業者の省エネ・省CO2対策が徹底されるよう各種省エネ診断を実施することにより、低炭素型ライフスタイルを創出し、快適な暮らしとまちの賑わいが持続する低炭素都市「クールシティ・堺」の実現に寄与することを目的とする。</p> <p><b>【内容】</b></p> <p>○クールシティ・堺パートナー制度では、パートナー制度参加企業を対象に温暖化対策に向けた勉強会や施設見学会を実施する。</p> <p>○子ども向けの自由研究エネルギーパークツアーを年2回夏に実施する。</p> <p>○うちエコ診断は、イベントでの診断を年1回開催、省エネチェックシートを用いた簡易診断をイベント等で年2回実施。</p> <p>○堺太陽光発電所普及啓発では、啓発パンフレットによる普及啓発を行うほか、見学場所周辺の除草業務を行う。</p> <p>○金融機関との連携事業では、低炭素の促進に寄与する環境金融施策に関するセミナー等を開催、創エネ・省エネに係る普及啓発を実施する。</p> <p>○適応策普及啓発では、グリーンカーテンなどの普及活動に加え、出前講座やセミナーを開催し普及啓発する。</p> <p>○工場の総使用電力量の20%程度を占めるコンプレッサに特化した省エネ診断や工場等の熱源として使用されるボイラに特化した省エネ診断を実施する。</p> <p><b>【今年度要求のポイント】</b></p> <p>国の第5次環境基本計画ではSDGsの考え方を踏まえた「環境・経済・社会の統合的向上」を目標に掲げている。経済発展と環境配慮を両立した温暖化対策を行うため、クールシティ・堺パートナー制度を通じて参加企業に温暖化対策の普及啓発活動を行い、事業者と連携した気候変動対策を展開していく。</p>	H ~ H				
		<b>主要要求内容</b> (単位:千円)				
		<b>項目</b>	30年度予算	31年度要求額	<b>内容・積算等</b>	
		クールシティ・堺パートナー	228	230	勉強会場借上げ、謝礼金、旅費等	
次世代エネルギーパーク	155	157	見学会等(車両借上等)			
うちエコ診断	123	125	診断業務(謝礼、印刷製本等)			
堺太陽光発電所普及啓発	1,064	1,065	除草業務、印刷製本費等			
温暖化対策普及啓発セミナー	94	0				
金融機関との連携事業	776	117	会場借上費等			
適応策普及啓発等	684	189	消耗品費、通信運搬費等、旅費等			
省エネアドバイザー派遣	672	448	委託料等			
省エネ技術講習等	388	391	旅費等			
大阪省エネラベルキャンペーン	35	0				
<b>合計</b>	<b>4,219</b>	<b>2,722</b>				
<b>スケジュール(経過及び今後展開)</b>						
<b>【経過(～30年度)】</b>		<b>【31年度】</b>		<b>【今後予定(32年度～)】</b>		
金融機関との連携事業(H22～) エネルギーパーク事業(H22～) パートナー制度の実施(H23～) うちエコ診断の実施(H26～) 省エネアドバイザー派遣業務(H27～)		うちエコ簡易診断等、低炭素の促進に資する、環境マネジメント、金融商品等の情報発信セミナー、地球温暖化適応策の普及啓発の実施		市民・事業者の低炭素活動の普及促進		
<b>その他 特記事項</b>						
みんなの審査会対象外 関連事業：						